

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年10月21日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

2日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	富山県市町村会館管理組合	代表者名	藤井 裕久
担当部署	事務局	連絡先電話番号	076-441-1511
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	上山 謙治
		連絡先E-mail	
住所	930-8758 富山県富山市下野995番地の3		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	デジタル化（IT化）とDXとの違い、トランスフォーメーション（変革）をどのように進めるか、オープンデータの必要性などを説明いただくとともに、他自治体でのDX活用事例を解説いただくことで、市町村がDX導入に向けどのように取り組むか、どのような効果やメリットがあるか、具体的にイメージすることができた。 また、デジタルツール（「Zoom」、「slido」、「miro」等）を活用し、慣れることにより、講師と会場での受講者、オンラインでの受講者がリアルタイムで意見交換しながら講義やワークショップを行うことができた。
アドバイザーへの要望事項	市町村がDX推進に取り組んでいくために、来年度以降も研修を実施し、アドバイスをいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和4年10月14日	講演(実地)	有	令和4年10月5日	302
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年10月14日	講演（実地）	9時30分	15時15分	60
				活動時間（分）	285
3-2. 派遣場所	会場名	富山県市町村会館	最寄駅	富山駅	
	所在地	富山市下野995番地の3	最寄駅からの交通手段	タクシー	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市町村職員	48人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	これまでの講義中心の知識習得を目的とした研修ではなく、市町村がDXを導入するための組織の合意形成や具体的な他自治体等での導入事例の紹介など、実務に即した講義とパソコン、インターネット、デジタルツール等を使用したDXを体験できる研修を実施したい。	
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）		
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	市町村がDXを推進するため、データやデジタル技術を活用して、住民ニーズや地域課題の解決のための政策立案や政策推進に活かせる人材を育成する。 このことにより、住民本位の行政の推進や公共の福祉の増進を図る。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	住民本位の行政を進めるためのDXの活用方法について、データやデジタル技術を使うメリットを具体的な事例や自治体の導入事例を紹介いただいた。 また、実際に、パソコン、インターネット、デジタルツール等を活用して、体験型ワークショップを行った。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	デジタル化 (IT化) とDXの違い、トランスフォーメーション (変革) をどのように進めるか、理解を深めるとともに、市町村がDX導入に向けてどのように取り組むか、どのような効果やメリットあるか、具体的にイメージすることができた。 また、DXの具体的な活用例として、データやデジタルツールを課題把握から政策立案に使うことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 今回の研修により、受講した市町村職員が、データやデジタル技術を活用して、住民ニーズや地域課題の解決のための政策立案に活かせるスキルを身に付けることができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	一度の研修では、全ての市町村や市町村職員にDXに対する理解が深まらない面があることから、次年度以降も引き続きDX研修を実施することにより、組織や職員の変革を図っていく必要がある。 また、今回の受講者のスキルアップを目指したい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	DXを推進する職員を育成することにより、行政サービスを変革するとともに、行政事務や組織を変革し、住民本位の行政の推進や公共の福祉の増進を図る。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



